

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009那第46号	
事故等種類	座洲	
発生日時	平成21年6月8日 14時15分ごろ	
発生場所	鹿児島県名瀬港第一防波堤灯台から真方位234° 150m付近 (概位 北緯28° 23.1′ 東経129° 29.9′)	
事故等調査の経過	平成21年6月19日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	監視船 なんせい、130トン	
船舶番号、船舶所有者等	135485、財務省	
乗組員等に関する情報	船長、二級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、船長ほか5名が乗り組み、取り締まり要員4人を乗せ、名瀬港に向かった。入港作業中、平成21年6月8日14時15分ごろ、船首アンチピッチングピンを擦過した。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、水路の調査を適切に行わなかった可能性があると考えられる。 船長は、名瀬港に入港するにあたって、名瀬港本港地区付近の地盤改良工事が実施されている海域を航行することから、当該工事について海上保安部から情報を入手していたものと考えられる。 船長は、海上保安部から入手した資料と実際の状況に差違があることに気付いていたものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が名瀬港に入港作業中、水路の調査を適切に行わなかったため、乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	